

# しんあい

## 季刊

社会福祉法人  
**多摩同胞会**

〒183-0042 東京都府中市武蔵台1-10  
TEL042-367-8801

多摩同胞会のホームページでは、  
ブログを毎日更新しています。

<http://www.tama-dhk.or.jp/>  
をリニューアルしました。ぜひご  
覧下さい！

2012年(平成24年) 8月10日発行 第83号 ◆編集と発行 しんあい編集部



来年のお願いとして「神さまもビックリ？」  
(岩本町ほほえみプラザ)

来年の  
成功の  
神田祭  
長田村  
送ろう  
に

### 泉苑

- ・特別養護老人ホーム信愛泉苑
- ・高齢者在宅サービスセンター  
泉苑ケアセンター

### 緑苑

- ・養護老人ホーム信愛寮
- ・特別養護老人ホーム信愛緑苑
- あさひ苑
- ・府中市立特別養護老人ホームあさひ苑
- ・府中市立あさひ苑  
高齢者在宅サービスセンター

### 神田事業所

- ・特別養護老人ホームかんだ連雀
- ・かんだ連雀高齢者  
在宅サービスセンター
- ・千代田区立岩本町ほほえみプラザ

### 児童福祉

- ・子ども家庭支援センターしらとり
- ・母子生活支援施設白鳥寮
- ・母子生活支援施設網代ホームきずな
- ・府中市子ども家庭支援センターたち

- ・理事長交代のご挨拶
- ・2012年  
韓国交換研修報告
- ・みんなで遊ぼう！  
しらとり ひろば
- ・施設だより  
「夏を迎えて」

# 理事長交代のご挨拶

平成24年7月14日に開催された第264回理事会において、7月23日付にて理事長坂本巖が名誉理事長になり、新理事長に鈴木恂子が就任することになりました。  
新旧理事長からのご挨拶と、多摩同胞会の運営体制についておしらせします。

## 退任のあいさつ

名誉理事長 坂本 巖

私こと7月22日をもって社会福祉法人多摩同胞会理事長の職を辞し名誉理事長の称号を受けました。

平成14年中城前理事長の後を受け、多摩同胞会がその理念のもと社会福祉法人としての使命を果たすために微力を尽くしてまいりました。

この間皆様のあたたかいご支援に力づけられて励むことが出来ましたことを心から御礼申し上げます。

今後は新理事長鈴木恂子以下全役職員の活動を背後から応援し、多摩同胞会運営を真摯に見守って参ります。

鈴木恂子新理事長をよろしくご指導いただきますようお願い申し上げます。



## 就任のあいさつ

理事長 鈴木恂子

このたび社会福祉法人多摩同胞会理事長に就任いたしました。

私が多摩同胞会に仕事として関わって以来四十七年が経ちます。白鳥寮の指導員、保育助手からスタートし、養護老人ホーム信愛寮、特別養護老人ホーム信愛泉苑の寮母（現介護員）、指導員（現相談員）、事務員を経験しました。その後、信愛寮施設長、泉苑ケアセンター所長、府中市立あさひ苑施設長として法人のほぼ全施設でご利用者や地域、行政の方々から多くのことを学ばさせていただきました。千代田区のかんだ連雀や岩本町ほえみプラザには常務理事として基盤づくりに携わりました。

この数年は福祉制度とは異なる保険制度のもとで利用者や地域の皆さまへのサービスの充実に、組織基盤の強化や職員の育成、身分保障、収支のバランス、建物整備や改修といった難しい課題に当面してきました。そして本年は施設長はじめ事業管理者を中心に、業務管理体制の構築に取り組んでおりましたので、坂本理事長のご退任をうけ、理事長に選任され、正直戸惑っております。

しかし中城前理事長から坂本理事長へと六十五年の歩みの中で培われた社会福祉法人としての社会的役割があります。その法人の理念のもとには四百人近くの職員がおります。そして法人の骨格を形成する理事会、ご指導くださる監事、身近な存在で各施設運営を支えてくださる評議員の皆さまがおられます。こうした多くの皆さまの支えに感謝し、また心を強くし、与えられた任務を果たしていかなければと存じます。

皆さまにおかれましては、どうぞ今後ともかわらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



## 多摩同胞会の役員及び評議員をご紹介します

－平成24年7月23日より新しい体制になりました－

### ◆評議員 [21名] ( ) 選出母体

- 鈴木 恂子 (理事)
- 石川 國雄 (理事)
- 小笠原祐次 (理事)
- 板垣 光繁 (理事)
- 内野 滋雄 (理事)
- 相羽 孝昭 (理事)
- 鈴木龍一郎 (理事)
- 田口 俊夫 (理事)
- 関 道子 (理事)
- 坂本 卓穂 (理事・神田事業所・施設長)
- 橋本 巖 (緑苑運営協議会)
- 石渡 楨子 (あさひ苑運営協議会)
- 石井 宏 (泉苑運営協議会)
- 堀田 康彦 (かんだ連雀運営協議会)
- 岡 美奈子 (あさひ苑運営協議会)
- 江田 廣子 (泉苑運営協議会)
- 吉田 允俊 (岩本町ほほえみプラザ運営協議会)
- 吉田ヒサ子 (しらとり運営協議会)
- 福岡 重男 (府中事業所・施設長)
- 松崎 哲也 (府中事業所・施設長新任)
- 近藤 政晴 (母子施設・施設長新任)

### ◆理事 [10名]

- 鈴木 恂子 (理事長)
- 石川 國雄 (常務理事・事務局長)
- 小笠原祐次 (常任委員)
- 板垣 光繁 (常任委員)
- 内野 滋雄
- 相羽 孝昭
- 鈴木龍一郎
- 田口 俊夫
- 関 道子
- 坂本 卓穂 (新任)

### ◆監事 [2名]

- 五十嵐勝紀 (財務担当)
- 佐藤 昌美 (事業担当)

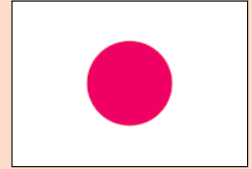


## 各施設及び事務局の運営体制（平成24年度）

拠点名	施設名	施設長等
府中事業所	泉苑 特別養護老人ホーム 信愛泉苑 泉苑ケアセンター 府中市地域包括支援センター 泉苑	福岡 重男 (施設長兼センター長) (松本恒明) (事務長) 秦 恵民 (包括支援センター長)
	あさひ苑 府中市立特別養護老人ホーム あさひ苑 府中市あさひ苑高齢者在宅サービスセンター 府中市地域包括支援センター あさひ苑	市川美智子 (施設長兼センター長) 清野 哲男 (事務長) 野尻 俊介 (副施設長)
	緑苑 養護老人ホーム 信愛寮 特別養護老人ホーム 信愛緑苑 府中市地域包括支援センター 緑苑	松崎 哲也 (施設長) 比留間 貴 (包括支援センター長)
神田事業所	かんだ連雀 特別養護老人ホーム かんだ連雀 かんだ連雀在宅サービスセンター 千代田区神田高齢者あんしんセンター	武田潤一郎 (施設長兼センター長) 金井 英明 (包括支援センター長)
	岩本町ほほえみプラザ 岩本町高齢者在宅サービスセンター 千代田区立グループホーム いわもと 千代田区立ケアハウス いわもと	坂本 卓穂 (館長兼センター長) 星川美津子 (事務長兼ケアハウス施設長)
母子施設等	きすな 母子生活支援施設 網代ホームきすな	近藤 政晴 (施設長)
	しらとり 母子生活支援施設 白鳥寮 子ども家庭支援センター しらとり	田口 信一 (施設長兼支援センター長)
	たち 府中市子ども家庭支援センター たち	片岡 高博 (支援センター長)
本部	事務局	近藤 政晴 (管理財務担当事務長・兼) 上野 広美 (労務庶務担当事務長)
	事業推進	(関道子) (特別職：サービス向上担当) 金 善 英 (特別職：スーパーバイザー)



# 2012年韓国交換研修報告



昨年度は、震災や原子力発電所の事故があり海外研修は中止となりましたが、平成24年度は、韓国への訪問から海外研修がスタートしました。今回は在宅支援における地域連携の在り方を一松学院の二つの施設の事業から学びました。高齢者支援の現場から、ユンドンボ老人総合福祉館で実施されている訪問食事業、独居高齢者支援センター、高齢者就職支援事業、シンリン総合社会福祉館で実施されている地域住民組織化事業を中心に視察しました。また、児童や青少年への支援で地域連携が欠かさないことから、対案学校事業、事例検討・地域ネットワーク作り事業を中心に学びました。

(松村)

## ■研修参加者

- 団長 松村 正巳 (府中市地域包括支援センター泉苑主任ケアマネ)  
 五十嵐容子 (府中市地域包括支援センターあさひ苑相談員)  
 中嶋恵以子 (あさひ苑訪問介護主任)  
 秋元 拓 (府中市地域包括支援センター緑苑相談員)  
 大日向 龍 (岩本町ほほえみプラザデイサービス主任)  
 コーディネーター 金善英 (法人スーパーバイザー)

## ■研修報告

「独居高齢者ONE-STOP支援センター」事業や「地域住民組織」事業はまさに日本における地域包括支援システムが掲げる協働体制(町づくり)による地域の役割分担の確立であり、それは福祉館や社会福祉士の高い専門性からなるものです。二つの福祉館で地域を担う社会福祉士の働きを通して今後の私たちに求められるのは、どの高齢者にど

んな援助がどれだけ必要かというアセスメント力や相應の資源開発力(事業所の専門性の意識向上)を養う取り組み(地域連携強化、地域の組織化)であると強く感じました。(松村)

アをしている人も義務感というよりも必要とされていることへのやりがいを感じているかたがほとんどでした。自分も以上に地域包括支援センターとして何ができるかを考え地域交流がさらに増えるようにしていきたいです。(五十嵐)

## ■研修プログラム

### 5月21日(月)

一松学院法人紹介・歓迎晚餐

### 5月22日(火)

シンリン総合社会福祉館紹介及び見学  
 老人プログラム紹介(各講座紹介)及び見学  
 青少年プログラム紹介(対案学校訪問)及び見学  
 住民組織プログラム紹介(3グループと討議)  
 児童プログラム紹介(放課後教室訪問)

### 5月23日(水)

ユンドンボ老人総合福祉館施設紹介・見学  
 老人仕事斡旋事業(保育園派遣講師と対談)  
 弁当・おかず事業(配達ボランティアに同行し居宅訪問する)  
 生涯教育事業(各講座紹介)  
 デイケアセンター参加

### 5月24日(木)

ハンケサリ事業説明  
 居宅訪問、活動参観(ボランティアに同行し地域を回る)  
 地域ネットワーク会議参観  
 家族統合事例管理紹介

### 5月25日(金) 帰国

研修参加前は、韓国と日本の違いはどこかと違いを探すことを考えていました。しかし結果は、日本も韓国も「福祉」ということの考え方に違いはありませんでした。困っている人がいる、「助けて」を自分では声に出せない人がいる。そのような人々の為にありとあらゆる可能性を探り、実践していくことが福祉なのだと思えました。

（大日向）

社会福祉士の専門性に裏付けされた行動力、それを支える地域住民との厚い信頼関係の強さを感じました。少ない資源を最大限に活用し、また効果的かつ効果的な仕掛けを作り出していました。今回同行訪問させて頂いたハンケサリ（共に生きる）活動も、独居高齢者が、何らかの支援を必要とする独居高齢

者を支え、福祉館が後方で支援するそんな活動でした。日頃の業務を振り返る貴重な機会となり、しっかりと考え行動していききたい。

（秋元）

ボランティアの方々が元気に楽しく活動していました。中には人の為に役に立ちたいとの思いから参加されている方もいましたが、「福祉館の方々の頑張っている姿を見て自分も何かできないか」と思い参加している」という方の言葉で、自分達も支えられる側であることを改めて実感しました。人との関わり方を見直すとてもよい機会をいただいた研修でした。

（中嶋）



小さなお子さんがパソコンに向かい英語の勉強中。韓国は非常に教育に熱心です。



シンリン総合社会福祉館職員と地域で活躍される自主活動グループの皆さんと記念撮影。



社会福祉委員会  
ユン ヒョンスク委員長と名刺交換



韓国と言えばやっぱり焼肉。食べて飲んでしっかり語り合うことが韓国式とのことでした。



幼稚園で老人仕事斡旋事業の紹介。活動されていたのは元園長先生。子どもたちも真剣に聴き入っていました。



初日の歓迎晩餐会。  
宮廷料理の数々で歓迎していただきました。



ヨンドンポ老人総合福祉館にて。みなさんとともに精力的に活動をされていました。



地域の児童施設の施設長3人と福祉館の社会福祉士で会議中。短時間で要領をえた進行に驚かばかりでした。



するどいキューさばきにビックリ。韓国の方はビリヤードがお好きです。



イルダ対案学校の皆さん  
日本語での挨拶と心のこもったプレゼントを頂きました。

# 子育て応援事業

## みんなで遊ぼう！

## しらとりひろばの紹介

しらとり（府中市武蔵台1の10）では乳幼児をもつ親子の遊びの場・交流の場として、平成23年4月1日より、府中市から委託を受け常設のひろば事業を始めました。月土の午前10時～午後4時まで、しらとり内の地域交流室にて行っています。名称は「しらとりひろば」です。遊びの場の提供のほか、ひろばでの子育て相談や資源紹介なども行っています。

しらとりの建物の外階段を利用し2階へ上がる時、しらとりひろばの入り口です（写真①）。靴を脱いで部屋のなかに入ると受付では「くま」と「かえる」がお出迎えます（写真②）。初回登録の際に作るお子さんの名前のカードを、来たときにくまの箱に入れ、帰るときにかえるの箱に入れるのがしらとりひろば流の受付。終わったらさっそくおままごとや絵本、木のおもちゃなど親子思いおもいのコーナーで遊びます。

飲食コーナー（写真③）やオムツ換えスペースを備えたひろばの環境は、広すぎず狭すぎず、といったところでしょうか。ありがたい

ことに、ご利用者から「しらとりひろばって、誰かの家みたい」「アットホームな雰囲気が好き」とのお声をいただき、励みになっています。

ねんねやハイハイの赤ちゃんから元気に歩きまわる子どもまで、午前も午後も毎日10～15組の親子が遊びに来ます。23年度は、年間約3千組、6千人の利用がありました。また、夏期は0歳～6歳（未就学児）のどの親子も安心して利用できるよう昨年同様に「コアラタイム」と「パンダタイム（写真④）」を設けて、交流を進めています。

府中市民、市内在勤のかた、また近隣市外の方もご利用いただけます。お近くにいらした際はぜひお立ち寄りください。見学も歓迎しますよ。

しらとりひろばへのお問い合わせは、  
**電話 042-3367-8881**  
 までお願いします。

（しらとり 安齊 真由）



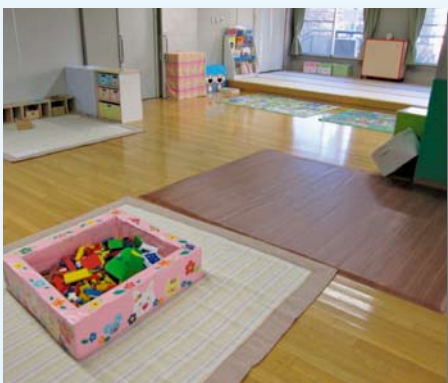
③ 飲食コーナー



② 受付です



① 外階段から入ります



⑥ ひろばの様子 - 2



⑤ ひろばの様子 - 1



④ コアラタイムとパンダタイム

# 施設 だよい



## 夏を迎えて

暑い毎日が続きますね。夏ならではの味わいを感じられるようなおたよりが、各施設より届きました。

### 泉苑

## 暑さに負けぬ「熱さ」

毎年梅雨入りの頃府中市では、自衛消防審査会が催されます。今年度は泉苑・しらとりからは男子隊3名が選ばれ、6月22日の本番へ向けて気合のこもった練習の日々が続いたのでした。

昨年の東日本大震災以来、防災の意識は個々の職員にも高まってきています。毎月の防災訓練でも、地震を想定した訓練・火災を想定した訓練などが入ります。

しかし、ホースや消火栓を操作するような本格的な消火法となると、誰でも知っているというわけではありません。もし、災害発生により消火器では手に負えないような火災が起きたら…。そこで、自衛消防隊の出番です。彼らは、消火栓からホースをつなぎ、放水するまでの動きを素早く正確に行うという訓練を積んでいるのです。自衛消防審査会はそうした技術を、各業種の消防隊が互いに切磋琢磨し合う場です。

雨の日も真剣な練習が続きました。彼らを動かすのは、審査会で好成绩を

収めたいという思いよりも、大切な利用者・同僚を火災から守りたい、という思いなのだということが練習を見るたびに、ひしひしと伝わってきました。

隊員たちの熱い思いは、夏の暑さをものともみません。アツイ彼らに、敬礼！

(介護員 小柳 忠幸)



### しらとり

## 水遊び大好き

梅雨も明けて、太陽がサンサンと輝くこの季節。外でミンミンと鳴くセミの声が激しく聞こえる中、しらとりひろばには、元気いっぱい体を動かす乳児から夏休みを存分に満喫して日焼けした幼児まで、様々な年齢の親子が集まっています。

そんな中、ひろば内の「ある場所」に決まって向かう子供達が…。それは、水道。水道に行ってはママに「蛇口をひねって水を出して!」と言わんばかりに、手を蛇口の下へ伸ばします。子ども達は水が大好き。水道では遊べないけれど、この時季、外での水遊びが気持ち良いですよ。そこで、月に2回開催している「オープンルーム」の7月の回では、ペットボトルを利用して水を入れて遊べるおもちゃ作りをしました。

中にはキラキラテープのサカナや、スポンジを切って作ったイカなどを入れました。ペットボトルにはテープを貼って、水が出るよう穴を開けて…水を入れると、穴から水が勢い良く飛び出します。

プールにはまだ早いけれど、親子で一緒に水遊びを楽しみたいな。そんな時に、身近な物を使って水遊びを楽しめて、子ども達も大喜びです。

まだまだ暑い日が続きますが、暑さに負けず、元気に夏を過ごしてくださいね。

(ひろば担当 石田 睦美)



## 岩本町

### とても幸せです

岩本町ほほえみプラザのお庭には、初夏になるとたくさんのおちなしの花が咲きます。顔を近づけるまでもなく、あたり一面ふわーっという香りがします。

普段は一人暮らしのショートステイ利用中の女性Aさんと散歩中、くちなしの花を見ながら「家族が家に遊びにきたの」と笑顔でうれしそうに話ししてくれました。「くちなしの花言葉は『幸せを運ぶ』なんですよ」と会話をしながら、とてもすがすがしい気持ちになった散歩でした。



できる限り、地域においてその人らしく日常生活が続けられて、この幸せが他の利用者にも届くといいなと思います。

(看護師 萩原 久美子)

## たっち

### 届けます 季節の子育て情報

総合受付にある情報コーナーでは、たっちに来所するお子さんや保護者の方、皆さんに向けて「子どもの身の回りの安全」と題し、季節ごとにテーマを決めてイラストを掲示したり、持ち帰りのリーフレットを作成したりしています。この夏は《おさんぽ・おでかけ》です。リーフレットには夏に注意したい症状はもちろん、元気に過ごすためのアドバイス、受診の目安、困った時の相談先など様々な情報を載せています。毎年暑い夏ですが、これを見て元気に過ごしてもらえたら嬉しいです。



(総合相談受付担当 長岡 愛)

## 連雀

### 夏だ！ 祭りだ！

神田地区では、2年に一度「日本三大祭り」の一つである神田祭が行われます。今年祭りのない「陰年」となり、陰年には町会で納涼祭が行われます。

納涼祭は、かんだ連雀の目の前で行われるため、その日はご利用者も浴衣を着て、普段あまりできない夜の外出をします。

以前、浴衣の着付けを担当したとき、98歳のご利用者に「しっかりと襟を抜いておくれよ！」と言われました。その言葉、その言い回しに、田舎者の私は「本物の江戸っ子だあ！」と感動したことを思い出します。

暑い夏を楽しみに変えてくれる納涼祭。今年も、いつもは穏やかなご利用者が祭り好きの江戸っ子になる瞬間をしっかりと目に焼き付けたいと思います。



(介護員 清水 裕子)



きずな

夏の恒例行事

子どもたちにとってはドキドキワクワクの夏休み。学童の夏の恒例行事と言えば、「キャンプ」です。毎年、きずなとしらとり合同で行なっているキャンプ。その日はお母さんと離れ、大自然に囲まれた中でテントを建て、そこに寝泊まりします。日中は川遊びや探検、スイカ割りをし、夕食には子どもたち全員でカレーライス作り。夜の就寝時間は慣れないテントの中で不安になる子、楽しく興奮している子など様々でみんな簡単には寝付けません。

それでも、次の日キャンプから帰ってきた子どもたちの顔は一段とたくましくなったようにも感じられます。夏休みに様々な体験をし、2学期にはさらに成長した姿を見せてくれるかもしれません。



(少年指導員 庄司 幸代)

緑苑

七夕パワー

今年も七夕の季節がやってきました。

7月4日に府中市立三本木保育園の子供達、ご利用者と一緒に七夕の飾り付けをしました。子供達の様子を見てみると、短冊にお願いごとを書きながら、「この字をカタカナにするとどうなるの?」どんな順番で書くの? どうやってつけるの?」などなど...。利用者のHさんは「どれどれ」「待って、待って」と大忙し。「ねえ、ねえ」「あのねえ」と声を掛けて来る子供達の多いこと。じっと目をみつめて、すっと身体を寄せて話す姿、初対面とは思えないHさんの対応でした。

最後に子どもたちと「きらきら星」を歌ってさよならをしました。小さい身体から大きなパワーがご利用者の心に届いたこととは間違いありません。



(支援員 二橋 光子)

利用者の皆さんからは「風が去ったあとみたい」とちよっぴりさみし気に言いながらも、しばらく笑顔が消えませんでした。

あさひ苑

七夕のお食事

七夕の日、色鮮やかな天の川を表現した七夕そうめんをお出ししました。

冷たいつゆがかかったそうめんの上には前日から準備した型抜きをした星型のにんじん、オクラと海老のかき揚げ、刻んだ大葉と長ねぎ、さくらんぼが飾られています。

ご利用者からは、「きれいだね〜」や「のど越しがよかった!」「こんなに手間をかけてもらって幸せだね」などの嬉しい声を沢山頂きました。試作をして見た目にもこだわった甲斐がありました。



(管理栄養士 佐藤 寛子)

夏は食欲が減退する傾向がありますが、あさひ苑では、冷たい麺や酢の物、梅を使った料理の頻度を増やし、食欲が湧かない時でもしっかりと食べられる工夫をしています。おいしい食事を食べて、この夏も元気に乗り切りましょう。

### ボランティア紹介 緑苑応援隊 リネン交換ボランティア

緑苑は毎日たくさんボランティアさんに支えられています。喫茶や売店で利用者や家族にお茶や日用品の販売をしたり各サークル活動の先生やそのお手伝いをして下さる方、毎日大量に出る洗濯物をたたんで下さる方など、ボランティアさんの顔を見ない日はないほどです。

写真の皆さんは毎週月曜日に特養の利用者のリネン交換をして下さるボランティアさんです。長い方だと15年以上携わっている方もいらっしゃいます。当時はまだ介護保険制度ではない時代、元氣な利用者が多くいろいろな話を聞かせてもらったそうです。

暑い時期は大変だと思いが皆さんの手際の良さや素敵な笑顔、パワーに職員も元氣をもらっています。これからも宜しくお願いします。

(緑苑 西林昌子)



### 御寄贈・御寄付ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

伊藤(忠) テクノソリユージュンズ 健榮製菓株式会社 国際ソロブチミスストあきる野 小林銀子 佐久間紀子  
株式会社三晃 須藤光忠 (株)サンリオエンターテイメント (株)資生堂ビューティークリエーション セカンドハー  
ベスト 株式会社テラモト 東京善意銀行 西多摩カップ友の会 村井政弘 明治神宮崇敬会 茂木万里子  
弓削田恵美子 (2012年4月~2012年6月)

### ボランティアの御協力ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

会田久枝 青山幸子 赤林好子 浅野貞子 浅見スジ 下宏子 白神早斗子 進藤サエ子 進藤環子 杉本  
子 網代弘子 荒波智子 有本陽子 飯塚喜多子 井 節子 杉山恵子 鈴木暉子 鈴木好枝 鈴木嘉子  
口イマ 閉巻を楽しむ会 石井悦子 石井忠男 石井 スターバックスコピー NPO法人 セカンドハー  
久子 石井宏 石坂勝世 石坂友子 石澤圭子 石野 ベスト・ジャパン 瀬戸貞子 浅間の森ハンドベルの  
美代子 市川アイ子 市川知子 イトウウメコ 伊藤 集い 蘭田澄子 高井汪子 高澤和美 高鍋恵子 鷹  
徳三郎 伊東富美子 井上真左子 井路世津子 岩佐 野榮子 高橋恭子 高橋啓次郎 高橋ちよ子 田口裕  
和栄 岩崎順 岩崎敏信 岩波えり 植松八千代 魚 香 竹内由美子 竹之内愛子 竹松ふく 湛啓子 田  
川桂子 鶴澤シツ 内堀美喜 梅原薫 梅原光洋 梅 中幸子 田中智加子 田中ヒサ子 田中翠 田部美智  
村治代 (株)SMS 遠藤伊代 遠藤みつよ 遠藤 子 多摩スマイル吹奏楽団 丹野由紀子 千葉芳子  
陽子 大川久美子 大久保峯子 大倉弘子 大沢良三 土屋とき枝 寺町律子 東京豊工事同志会 東郷實枝  
大島庸子 大塚沙恵 大野典子 大野文子 小笠原 子 戸島正子 橋谷さき 富田和代 富田秀子 中下  
知美 緒方シゲ子 岡田智子 岡田基子 岡野玲子 秀子 長島広美 中村紀久子 中村清美 中村フサ子  
岡裕子 小川健治 荻野和子 小熊美和子 奥山亜子 中村美佐江 中村恭俊 中山康 山中礼二 那須史  
奥山チヤ子 小倉富子 小倉道子 オオサの会 尾 子 西久保長子 西村珠美 二宮澄子 根岸路子 野  
崎佳子 尾崎節子 尾崎晴子 尾崎絃之 尾崎靖宣 坂昭弘 野坂いせ 萩原昭子 萩原八枝 橋場昭  
尾崎ヨシ子 小笹裕子 小澤末子 小貫良子 御野礼 橋本巖 羽島みのる 濱田真理奈 林由美子 羽山直  
子 おはなし夢クラブ 折田浩一 海江田紀久子 柿 子 原 恭子 原田園彦 原田康子 樋口淳子 樋口  
本純子 笠間豊子 梶伸子 鹿島千重子 鹿島キチ 雅子 樋口よし子 肥後住江 尾藤智子 平泉順子  
梶山アサミ 柏山和子 片桐キミ子 カットサロンア 平澤みどり 平田敦子 平野恵子 広木さく江 福田  
べ 勝間田清美 加藤紀久代 加藤さよみ 加藤静 佐代子 藤田裕二 船岡栄子 舟久保良子 舟見三佐  
加藤規子 加藤美美子 加藤洋子 金子武仁 上沢美 子 ふれあいクラブ浅間 星川美津子 星野ユキエ  
神崎佐和子 菅田幸枝 神田由起子 北村三枝 北村 智子 前田宗治 孫田一昭 堀切重明 本田純子 本多美  
よしこ 木森哲 草野美鈴 久保田摩耶子 熊谷ジュ 田知行 松浦良枝 松尾和枝 松澤通子 松下朗 松  
リエッタ 蔵内睦子 栗原宏子 桑原 侑子 弦間ま 田恵子 松野アイ 松本宜恭 丸田のぶ子 三浦香織  
さ 小石曉子 小出晨一 小出由美子 小岩井雅人 つ子 三坂和子 三井淑子 箕輪和子 三輪孝子 壬生み  
河野トシヨ 小島ユミ子 小島百合子 小菅よし江 つ子 宮崎清子 明神淑恵 村井福子 村野豊子 明  
後藤寿枝 後藤祐輝 小林真弓 小林美代子 古山フ 治神宮崇敬会 目々澤美智子 望月友子 百瀬洋子  
ジ子 是永美代子 紺野和子 今野幸子 齋藤孝子 森満隆文 森玲子 森脇敦子 八重の会 谷貝祥子  
齋藤則子 齊藤ヨシ子 佐伯美智子 酒井和子 坂井 柳澤直美 山下優子 山田一丸 山田ケイ子 山田順  
香奈絵 坂本越子 坂本文子 佐久間桂子 櫻井正治 子 山本峯子 鐘溝千寿子 ゆうかファミリー 横山  
佐々木真由紀 佐藤秋子 佐藤英子 佐藤公子 佐 年子 吉田育子 吉田恒雄 吉田陸子 米山秀子 る  
藤敬子 佐藤妙子 佐藤なかり 佐藤初江 佐藤ミド リ まつりの会 脇山令子 渡辺一恵 渡辺勝征 渡辺  
澤佳津子 塩澤千鶴 重田文子 品田啓子 澤良子 塩 キク 渡辺久代 渡辺秀雄 渡邊弘子 渡邊房子 渡  
ジブラルタ生命 清水水枝 下江美鈴 下中恵美子 部守 (2012年4月~2012年6月)

### 編集後記

皆さんにとって、夏のごちそう料理は何でしょうか？私の場合、冷汁です。(泉苑 小柳忠幸)

編集委員一年目です。「一つ一つのつながりを大切に」という思いでがんばります。(泉苑 岩淵研哉)

今年はゴーヤで緑のカーテン作りに挑戦です！(あさひ苑 片淵 誠)

空いっばいに大きな火花が打ち上がる、自然に「ワッ！」と声が出てしまいます。(あさひ苑 比嘉敦恵)

夏バテ気味の身体にハマっているのが「豆腐ソーメン」です。(緑苑 西林昌子)

編集委員も2年目となりました。昨年、編集後記を見て声をかけて下さった方がいました。とても嬉しかったです。今年も頑張ります。(岩本 柳英恵)

花火や夏祭、風鈴やセミの声などがたくさんありますね。(しらとり 岡野悠子)

地域の方と交流ができる納涼祭がありました。さずなの夏の風物詩です。(さずな 浦上さわ)

久しぶりの編集委員です。施設の今をお伝えできるようにがんばります。(たっち 高橋明子)

沖方丁「天地明察」(角川文庫)を一気に読み、自分の天明はなんだろう？と考えました。(事務局 青木志乃)

今号では連載中の「介護保険を考える」をお休みし法人の新体制をお伝えすることになりました。職員の団結力で新しい時代をのりこえたいと思っています。(編集長 上野廣美)



### 介護に関するご相談は 無料ダイヤルで！

●泉苑  
0120-6540-24  
老後支援 24時間

●あさひ苑  
0120-2942-24  
福祉にっこり 24時間



多摩同胞会の  
ホームページを  
携帯でもどうぞ！